

## ボランティア診療報告

日時:2014年11月29日~12月1日

場所:湖南省湘潭县人民医院

参加者:李永国等6名(名簿別添)

日本財団 吉田部長、高木氏、日中医学協会 安達理事長、太田

報告者:李忠金

総参加者数:350名

活  
動  
内  
容  
及  
経  
過

国家衛生和計画生育委員会と日本財団が2013年5月17日に北京で結んだ「日中笹川医学協カプロジェクト」に拠り、2014年11月29日~12月1日笹川医学奨学金進修生同学会は湖南省湘潭县人民医院でボランティア活動を行った。

今回のボランティア診療はボランティア診療人員が直接患者を診療する従来のスタイルを変更し、当地の医療関係者への研修に重点を置き、当地医療関係者との共同回診を実施した。

11月29日午後、湘潭县人民医院の大講堂に湘潭县人民医院、湘潭県婦幼保健院、湘潭県中医院等県レベルの医療機関に勤務する医療関係者及び周辺の十数か所の郷鎮衛生院の医療関係者、医師、看護師等350名が集まった。

安達理事長、李永国、趙秋利、羅開忠の4名がそれぞれ講演を行った。安達理事長は日本の緩和医療の現状と静岡癌センターでの緩和医療の治療法について素晴らしい講演を行った。李永国氏はどのようにして患者と向き合うことがよいか、医学倫理教育をどのように強化すべきかについて講演を行った。趙秋利氏は健康生活モデルの中の運動療法、食餌療法について講演を行った。羅開忠氏はB型肝炎等伝染病の予防治療について講演し、参加者の好評を得た。講演終了後は多くの質疑が行われ、非常に熱気のある議論が行われ、素晴らしい研修効果を得た。

	<p>30日は終日ボランティア診療人員と当地の医者が一緒に入院患者への回診及びカンファレンスを行った。回診の際には、回診のルール、注意点について模範をしめし、当地の医療関係者と回診結果と経験を共有した。湘潭県人民医院回診に参加した人員はボランティア診療の医師と一緒に回診をしたことで得た収穫は大きく、ルールに則った回診ができたとの感想を述べた。</p>
希 望	<p>今後は定期的に湘潭県人民医院とこのような形式の病棟回診を行っていきたい。</p>

## 义诊活动报告

时间：2014年11月29-12月1日

地点：湖南省湘潭县人民医院

参加人员：李永国等6人（名单附后）、安达勇理事长，吉田哲郎、太田晶子、高木

报告人：李忠金

总参加人数：350人

活动内容及经过

根据国家卫生和计划生育委员会与日本财团于2013年5月17日在北京签署的《中日笹川医学合作项目》协议规定，2014年11月29-12月1日，笹川医学奖学金进修生同学会在湖南省湘潭县人民医院开展义诊活动。

本次义诊活动改变了以往由义诊人员直接看病人的做法，将重点放在了对当地医务人员的培训以及与当地医务人员共同查房上。

11月29日下午，湘潭人民医院的大讲堂聚集了湘潭县人民医院、湘潭县妇幼保健院、湘潭县中医院等县级医务工作者以及周边十几个乡镇卫生院的医疗管理人员、医生、护师等共计350名人。

安达勇理事长、李永国、赵秋利、罗开忠等4人分别作了讲演。安达勇理事长就日本姑息治疗的现状以及静冈癌中心的姑息治疗方法等做了精彩的演讲；李永国同学就如何正确对待医患关系、如何加强医学伦理教育；赵秋利同学就健康生活方式中的运动疗法和饮食疗法；罗开忠同学就乙肝等传染病的防治等分别做了报告，受到与会人员的一致好评。讲演结束后，与会人员提出了很多问题，现场的交流氛围十分热烈，收到了良好的培训效果。

30日全天，义诊人员与当地医生一起对住院病人进行了查房以及病例讨论。在查房过程中，重点针对查房时的规范做法、注意要点做了示范，与当地医务人员

	<p>共同分享了查访体会和经验等。湘潭县人民医院参加查房的人员表示：与义诊老师的共同查房收益非浅，学到了规范性的查房方法。</p>
希望	<p>希望今后能定期帮助湘潭县人民医院进行这种形式的查房。</p>

# 中日国际医学学术交流会

笹川医学奖学金同学会义诊活动(湘潭站)

## 活动指南

主办：笹川医学奖学金同学会

承办：湘潭县人民医院

2014·11



## 活动出席 专家教授

**安达勇**

日中医学协会理事长 十三届日本姑息医疗学会会长  
日本静岡癌症中心参事 原院长  
教授 日本著名肿瘤专家

**李忠金**

中日科技医学交流协会常务理事  
笹川医学奖学金同学会秘书长

**李永国**

湖南旺旺医院名誉院长  
中南大学普外科、医学伦理学、医院管理学教授 博士生导师

**赵秋利**

哈尔滨医大护理学院院长  
护理学博士 教授 硕士生导师

**徐进迪**

湘雅二院 普外科教授 硕士生导师 留日博士

**罗开忠**

湘雅二院感染病科副教授 博士

**李 炼**

湖南旺旺医院 护理部主任 副主任护师



## 活动报到

**11月29日** 12:30~13:25

## 活动启动

地点：湘潭县人民医院总院行政区大会堂

时间：**11月29日** 13:30~13:55

- 与会专家 嘉宾介绍
- 致欢迎辞

## 学术报告

地点：医院行政区大会堂

时间：**11月29日** 14:00~17:00

- 主题： 14:00~14:30

**日本肿瘤姑息治疗的现状**

**安达勇**

- 主题： 14:30~15:00

**高脂血症者生活方式改善指导**

**赵秋利**

- 主题： 15:00~15:30

**慢性乙肝的认识与诊治现状**

**罗开忠**

## 业务查房、病例讨论

时间：**11月30日** 8:00开始

外科查房

**主持专家：李永国、徐迅迪**

地点：十五病室（外科楼15F）

护理 JCI模式查房

**主持专家：李 炼**

地点：内科 二十一病室（内科楼1F）

外科 十六病室（外科楼16F）

- 主题： 15:30~16:00  
**JCI标准护理质量指标监控实务分享**  
李 炼
- 主题： 16:00~16:30  
**危重病人救治决策中的医患沟通**  
李永国
- 主题： 16:30~17:00  
**日本医疗体系介绍**  
李忠金、李永国、安达勇、赵秋利



湘潭县人民医院  
The People's Hospital of Xiangtan County

# 中日国际医学学术交流会

笹川医学奖学金同学会义诊活动(湘潭站)

## 资料汇编

主办单位：笹川医学奖学金同学会

承办单位：湘潭县人民医院

时 间：2014年11月29-30日

厚德 精医 博爱 创新

ボランティア活動報告	
日時: 2014年9月5日～7日	場所: 黒龍江省ハルピン市五常県
参加者: 王喜軍(10期)、劉麗(10期)、李忠金(12期)、程為平(21期)、王有鵬(黒龍江中医薬大学第一附属医院副院长、小児科)、馮曉玲(黒龍江中医薬大学第一附属医院産婦人科主任)、その他劉麗と程為平の学生である博士課程在籍者5名、計11名	
報告者: 李忠金	診療数: 395名
活動内容及び経緯	<p>衛生計生委と日本財団が2013年5月17日に北京で調印した「日中笹川医学協カプロジェクト」協定書の規定に基づき、2014年9月5日～7日に笹川医学奨学金進修生同学会は黒龍江省哈爾濱市五常県にてボランティア活動を行った。参加したのは、同学会会員(4名)、黒龍江中医薬大学(2名)、及び同学会会員の学生である博士課程在籍者(5名)である。</p> <p>今回のボランティア診療は当地の政府、衛生局、ボランティア活動をする基層医院に非常に注目された。</p> <p>9月5日に当地入りすると、当地の衛生局長がボランティア診療の専門家を出迎え、2日目から開始したボランティア診療には副局长、医院院長が全行程同行した。6日、7日の2日間のボランティア診療総数は495名で、同学会は25,000元の医療機器及び医薬品を寄贈した。</p> <p>ボランティア診療は当地の政府から高い評価を受け、当地の人々から歓迎された。事前の宣伝活は周到で1か月前から通知を出したため、非常に多くの患者が数十キロ先の山岳地帯からわざわざ診療のためにやってきて、専門家の明確な診断を受け、満足して帰っていった。</p> <p>ボランティア診療は良好な社会効果をもたらした。当地の企業(健康茶のメーカー)の代表が同学会の活動に興味を持ち、ボランティア診療全行程に参加し、活動が終了した後、ボランティア診療チームと懇談し、今後も機会があれば、同学会組織へのサポートも含めて、同学会の活動に参加したいという希望を述べた。(同学会活動に寄付をする意向がある)。</p> <p>同学会会員の学生(博士課程在籍者)5名はボランティア診療のすべての行程に参加した。ボランティア活動を行って行く過程で、同学会の活動状況や奨学金プロジェクトの内容についての認識を深め、今後の奨学金制度の募集への良い宣伝となった。</p>
希望	<p>次回のボランティア診療においては、医学のテーマで講演を行い当地の医療従事者の人材育成に協力したい。</p>

## 义诊活动报告

时间：2014年9月5-7日

地点：黑龙江省哈尔滨市五常县

参加人员：王喜军（10期）、刘丽（10期）、李忠金（12期）、程为平（21期）；王有鹏（黑龙江中医药大学第1附属医院副院长、儿科专家）、冯晓玲（黑龙江中医药大学第一附属医院妇产科主任）、另外还有刘丽和程为平的在读博士生5人，共11人

报告人：李忠金

总义诊人数：395人

### 活动内容及经过

根据国家卫生和计划生育委员会与日本财团于2013年5月17日在北京签署的《中日笹川医学合作项目》协议规定，2014年9月5-7日，笹川医学奖学金进修生同学会在黑龙江省哈尔滨市五常县开展了扶贫义诊活动。

参加义诊人员为笹川医学奖学金进修生同学会归国同学（4人）和黑龙江中医药大学2人以及笹川生的在读博士生5人。

本次义诊得到当地政府、卫生局和义诊基层医院的高度重视。

9月5日抵达当日，当地卫生局局长亲自到迎接义诊专家。第二天开始的义诊活动由副局长和医院院长全程陪同。6日和7日两天的义诊总人数为495人。同学会赠送了近25000医疗仪器和药品。

义诊活动得到了当地政府的高度评价，受到了当地百姓的欢迎。由于事先准备工作做得很周到，一个月前就发出了通知，有很多患者是从几十公里外的山区专程赶来看病，在得到了专家的明确建议后满意地离开。

义诊活动也取得了很好的社会效果。当地企业（生产保健茶叶）负责人对同学会组织的义诊活动十分感兴趣，全程参与了义诊活动，活动结束后与义诊人员进行了座谈，希望以后有机会参与同学会的活动，包括为同学会组织的活动提供帮助（有赞助同学会活动的意向）。

归国笹川同学的5名在读博士生全程参与了义诊活动。在开展义诊活动过程中，了解到了同学会开展的活动情况以及笹川医学奖学金项目的相关情况，为今后奖学金项目的招生工作做了很好的宣传。

### 希望

希望下次义诊时，能进行医学专题讲座、帮助培养当地的医学人才。

## ボランティア診療報告書

日時:2014年12月13日～15日

場所:陝西省安康市流水中心衛生院

参加人員:楊林海等5名(名簿別添)

報告者:李忠金

ボランティア診療での診療人数:197名

活  
動  
内  
容  
及  
経  
過

国家衛生和計画生育委員会と日本財団が2013年5月17日に北京で結んだ「日中笹川医学協カプロジェクト」に拠り、2014年12月13日～15日まで笹川医学奨学金進修生同学会は山西省安康市流水中心衛生院でボランティア診療を行った。

今回のボランティア診療は湖南省湘潭県人民醫院の経験に基づき、本来の計画で診療すべきだった患者の診療以外に、当地の医療関係者に研修を行い、当地の医療関係者と一緒に病棟回診とカンファレンスを行った。

13日午後、ボランティア診療グループの同学会会員4名は当地の医師と一緒に病棟を回診し、カンファレンスを行った。病棟回診においては、病棟訪問前の準備事項、回診時の質問の要点、注意事項等を細かく解説し、当地の医療関係者と回診結果と経験を共有した。回診活動は当地の医師に非常に好評であり、今後も定期的に指導をしてほしいとの希望が寄せられた。

今回のこのボランティア活動を当地政府は非常に重視し、当地の市の立つ日(12月14日)にボランティア診療を実施した。事前に十分広報活動を行ったので、多くの患者が遠方からこのためにやってきて、診療が終わったのちに日用品の購入を済ませて帰った。流水中心衛生院はちょうど市の立つ場所にあるため、多くの人々が

	<p>ボランティア診療を行っているのを見て、沢山来たため、市よりも人が多いくらいであった。</p> <p>12月15日午前9時から12時まで、4名の同学会会員は「心筋梗塞の発作時の救急処置」「消化器疾病の診察治療について」「呼吸器疾病の診察治療について」「小児肺炎の診断と予防」などのタイトルで講演を行い、50名近くの当地医療関係者が参加した。講義内容は非常に簡明で実用的で、参加者は今後定期的にこのようなセミナーが開催されることを希望すると述べた。</p>
希望	<p>次回は、診療の時間を短縮して、講義時間を長くしたほうが良いと考える。当地のより多くの医療関係者が研修を受け、当地の医療関係者の診療のレベルが向上することが、ひいては一般の患者へのサービス向上につながる。</p>

## 义诊活动报告

时间：2014年12月13-15日

地点：山西省安康市流水中心卫生院

参加人员：杨林海等5人（名单附后）

报告人：李忠金

总义诊人数：197人

活 动  
内 容  
及 经  
过

根据国家卫生和计划生育委员会与日本财团于2013年5月17日在北京签署的《中日笹川医学合作项目》协议规定，2014年12月13-15日，笹川医学奖学金进修生同学会在山西省安康市流水中心卫生院开展义诊活动。

本次义诊活动借鉴了湖南湘潭县人民医院的经验，除计划中的诊治患者外，还对当地医务人员进行了培训以及与当地医务人员共同进行了查房。

13日下午，义诊团的4名同学与当地医生一起对住院病人进行了查房以及病例讨论。在查房过程中，就查访前的准备事项、查房时的询问要点、注意事项等细节做了详细的解释，与当地医务人员共同分享了查访体会和经验等。查访活动受到了当地医生的好评，希望今后能对定期对他们进行查房指导。

义诊活动得到了当地政府和卫生院的高度重视。义诊活动特意选择了当地赶集日（12月14日）进行，由于事先做了充分的宣传，很多患者从很远的村寨专程赶来看病，看完病才去集市购买日用品。流水中心卫生院正好位于集市的中心处，很多赶集的百姓看到有义诊活动也纷纷凑过来求医问诊，义诊现场人头涌动、一度比集市还要热闹。

12月15日上午9-12点，4名同学为当地医务人员进行了有关“心肌梗死突发时的急救”、“常见消化道疾病的诊治”、“常见呼吸道疾病的诊治”、“小儿肺炎

	<p>的诊断与预防”等题目的专题讲座，共有近 50 名当地的医务人员参加了培训。</p> <p>参加培训的当地医务人员表示：讲座内容十分通俗易懂、非常实用，希望今后能定期进行这样的讲座。</p>
希望	<p>希望下次活动时，可以缩短诊治病人的时间，适当延长讲座时间，以便让当地更多的医务人员接受培训，提高当地医务人员的诊治水平，以便更好地为百姓服务。</p>

## 事業活動報告

事業名称：2014 年度笹川医学奨学金進修生同学会帰国同学会会員学術交流会		
月日：2014 年 9 月 13 日	場所：北京西藏大厦	参加者：107 名(名簿参照)
報告者：李忠金	期：12 期	携帯電話：13910254013
所属機関：同学会		E-mail:richyukin@yahoo.co.jp
活動 内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 笹川医学奨学金進修生同学会趙群理事長、衛生計生委国際合作司王立基司長、日本財団尾形武寿理事長、日中医学協会安達理事長がそれぞれ挨拶をした。</li> <li>2. 北京師範大学中国公益研究院院長である王振耀先生が「中国の養老サービスの動向及び日中の協力」の演題で基調講演を行った。</li> <li>3. 厚生労働省保険局医療課保険医療企画調査室室長である込山愛郎氏が「日本の高齢者福祉政策の最新動向」の演題で基調講演を行った。</li> <li>4. 優秀同学会会員を表彰した。(名簿参照)</li> <li>5. 同学会北米支部の設立を宣言し、任命書を交付した。</li> <li>6. 懇親会を開催した。</li> </ol>	
成 果 (注 目 す べ き 点)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 同学会の影響力が更に拡大した。 同学会は国内に 6 つの支部、日本に 1 つの支部があったが、今回北米支部が新たに加わった。これまで同学会の活動は日中の両国内だけにとどまっていたが、北米支部の設立により、今後更に広範な範囲で活動を行う可能性が高まり、同学会の他国への影響力の拡充の可能性が拡大した。</li> <li>2. 視野が広がり、日中協力の良いきっかけとなった。 2 名の演者による講演は素晴らしく、参加者に深い印象を与えた。レベルの高い学術会議は同学会会員の視野を広げ、今後の日中の高齢者問題の協力の良いきっかけとなった。</li> <li>3. 同学会の今後の活動の基礎を強化した。 本会員大会は同学会が成立以来、初めての会員代表大会で、参加した会員代表は中国全土の 90%の省を網羅した。参加代表らは、そのほとんどが、(これまで同学会活動に参加したことのなかった天津、河北の代表が挙手をし、来年度は自分の地域で活動を行いたいとの希望を述べた)今後の同学会活動の範囲が拡大し、同学会の活動の基礎が強化されたといえるであろう。</li> <li>4. 視野が広がり、協力の良いきっかけとなった。</li> </ol>	
提 案	<p style="text-align: center;">時間に限りがあったため、会員には意を尽くしきっていない感があったようで、このような内容のセミナーを多く開催してほしいとの希望があった。</p>	

## 项目活动报告

活动名称：2014 度笹川医学奖学金进修生归国同学会会员大会暨学术交流会		
时间：2014 年 9 月 13 日	地点：北京西藏大厦	人数：107 人（名单附后）
报告人：李忠金	期别：12 期	手机：13910254013
单位：同学会		邮箱 richyukinjp@yahoo. co. jp
活 动 内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、 笹川医学奖学金进修生同学会赵群理事长、卫生计生委国合司王立基长、日本财团尾形武寿理事长、日中医学协会安达勇理事长分别致了辞。</li> <li>2、 北京师范大学中国公益研究院院长王振耀先生做了题为 「中国养老服务业基本走势和中日合作」 的主旨讲演</li> <li>3、 厚生劳动省保险局医疗处 保险医疗企划调查室长达山爱郎先生做了题为「日本高龄者福祉政策的最新动向」的主旨讲演。</li> <li>4、 表彰了优秀同学会会员（名单附后）。</li> <li>5、 宣布成立同学会北美支部、颁发了任命书。</li> <li>6、 举行了答谢晚宴</li> </ol>	
成 果 ( 亮 点)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、 进一步扩大了同学会的影响力。 迄今为止，同学会在国内有 6 个分会，在日本有 1 个分会，加上这次新成立的北美分会，目前同学会共有 8 个分会。过去，同学会只在中日两国国内开展活动，通过成立北美分会，今后有望在更广阔的范围内开展活动，有望进一步扩大笹川同学会在其他国家和地区的影响力。</li> <li>2、 开拓了视野、提供了合作契机。 两位主旨讲演者的演讲十分精彩，给参会人员留下了深刻的印象。高水平的学术会议不仅开拓了同学们的视野，更为今后中日两国在养老领域的合作提供了良好的契机。</li> <li>3、 同学会今后开展活动的基础进一步得到加强。 本次会员代表大会是同学会成立以来的第一次召开的会员代表大会。参会代表涵盖了中国 90%以上的省。几乎所有参会代表均表示：会议结束后会组织本地区的同学开展活动（迄今为止从未开展过任何活动的天津和河北代表举手表示希望明年能在所在地区开展活动）。可以说，今后同学会开展活动的范围将进一步扩大，开展同学会活动的基础得到进一步的加强。</li> </ol>	
建 议	<p style="text-align: center;">因时间有限，与会同学们普遍有意犹未尽之感，希望能多举办类似内容的学术研讨会。</p>	

## プロジェクト活動報告

プロジェクト名称：2014 笹川医学奨学金同学会華東地区学術検討会	
日時：2014年10月11日	場所：蘇州国信雅都大酒店
参加者：45名(名簿別添)	報告者：李忠金
期：12期	携帯電話：13910254013
所属機関：同学会	E-mail : richyukinjp@yahoo.co.jp
活動内容	<p>1. 中国中医科学院常務副院長 劉保延教授が「BIG DATA 時代の健康観念」について講演を行った。</p> <p>2. 孫偉(18期)氏が「養生と養腎」の講演を行った。</p> <p>3. 黄嘯(25期)氏が「女性の心理の健康について」の講演を行った。</p> <p>4. 万毅剛(26期)氏が「漢方薬から見た腎臓病」の講演を行った。</p> <p>5. 殷猛(27期)氏が「新時代の挑戦と遭遇」の講演を行った。</p>
成果	<p>1. 高水準の講演で会員の視野を広げた。          今回の会議は「時代・生命・健康」をテーマとし、新時代の生命健康観を探るものである。中国中医科学院常務副院長 劉保延教授を特別に招き、「BIG DATA 時代の健康観念」について特別講演をしていただいた。講演は素晴らしく会員の視野を広げ、国内最高水準の学術報告であった。</p> <p>2. 笹川医学奨学金プロジェクトの宣伝を行い、プロジェクトの影響力を拡大した。          孫偉氏がセミナーの際に同学会会員は積極的に笹川医学奨学金制度を利用して訪日研修をするようにと呼びかけ、数名の会員が来年自分の学生を訪日研修に推薦する旨表明した。</p> <p>3. 各地の同学会会員のコミュニケーションを強めた。          上海、南京、杭州、蘇州などの会員が出席した。会員は積極的に発言し、活発な意見が交わされた。この会に出席した会員はこの会を非常に高く評価し次回の会合が自身の地元で開かれることを希望した。会員は同学会の活動が長期にわたり、制度化され、多様化されることを期待している。</p>
提案	今後、地方支部会を開催する際は、劉保延教授のような高水準の専門家をお呼びして特別講演を行うと良い効果が得られると思う
备注	

## 项目活动报告

活动名称：2014 笹川医学奖学金进修生同学会华东地区分会学术研讨会	
时间：2014 年 10 月 11 日	地点：苏州国信雅都大酒店
报告人：李忠金	人数：45 人（名单附后）
单位：同学会	期别：12 期
	手机：13910254013
	邮 箱 richyukinj@yaho. co. jp
活动内容	<p>1、中国中医科学院常务副院长刘保延教授做了“大数据时代的大健康观念”的特别讲演。</p> <p>2、孙伟（18 期）同学做了“养生与养肾”的讲演</p> <p>3、黄啸（25 期）同学“浅谈女性心理健康”的讲演</p> <p>4、万毅刚（26 期）同学“从汉方药肾病谈起”的讲演</p> <p>5、殷猛（27 期）同学“新时代的挑战与机遇”的讲演</p>
成果（亮点）	<p>一、高水平的讲座开拓了同学们的视野。</p> <p>本次会议以“时代·生命·健康”为主题，探讨新时代的生命健康观。特邀中国中医科学院常务副院长刘保延教授做了题为“大数据时代的大健康观念”的特别讲演。讲演十分精彩，开阔了同学们的视野，听到了国内最高水平的学术报告。</p> <p>二、努力宣传笹川医学奖学金项目，扩大了项目的影响力。</p> <p>孙伟同学在研讨会上特别呼吁同学们积极推荐自己的弟子通过笹川医学奖学金渠道赴日学习，已经有个别同学表示明年会推荐自己的弟子赴日学习。</p> <p>三、加强了各地同学之间的沟通与联系。</p> <p>上海、南京、杭州、苏州等地的同学出席了研讨会。同学们积极发言，讨论热烈。全体与会者对此次同学会给予了高度评价，并纷纷表示期待下次研讨会能在自己所在的地方举办，大家期待同学会活动的长期化、制度化、多样化。</p>
建议	以后召开地方分会研讨会时，争取还能邀请到像刘保延教授这样高水平的专家进行特别讲演。
备注	

## 事業活動報告

事業名称：2014年笹川医学奨学金進修生同学会西南地区支部学術交流セミナー		
日時：2014年10月20日	場所：成都天使賓館	参加者：33名(名簿別添)
報告者：李忠金	期：12期	携帯電話：13910254013
所属機関：同学会		E-mail:richyukinjp@yahoo.co.jp
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日中医学協会江藤理事が参加し、挨拶を行った。事務局の太田氏が参加した。</li> <li>2. 黄定明氏(23期)が「天然歯の保存における最新技術」をテーマで講演し、担当した基層研修の紹介を行った。</li> <li>3. 冉玉平氏(4期)が「新しい視野、新しいステージ、新しいモデル-皮膚鏡の臨床応用について」というテーマで講演した。</li> <li>4. 唐小海氏(11期)が「ナノカーボン注射液の赤外線吸収と照射効果について」をテーマに講演した。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 丁群芳氏(25期)が「理想と現実の大きな差異について-中国の老年医学と介護の現状」をテーマに講演した。</li> </ol>	
成果	<p>33名の同学会会員以外に、会員の学生が多く参加し、同学会及び奨学金事業の影響力を拡大した。</p> <p>同学会会員の学生7名がセミナーに参加し、学生は奨学金プロジェクトと同学会に非常に興味を持ち、今後の活動に参加したいとのことであった。</p>	
提案	<p>同学会会員が各々の角度から自身の直近の研究成果を発表したが、各々の領域が異なっており、講演内容の専門性が高かったため、共感、話題性が少なく、質疑もあまり活発でなかった。今後はテーマを選定する際に共感でき、話題性の高いテーマを選ぶようにしたほうが良い。</p>	
註		

## 项目活动报告

活动名称：2014 笹川医学奖学金进修生同学会西南地区分会学术研讨会	
时间：2014 年 10 月 20 日	地点：成都天使宾馆 人数：33 人（名单附后）
报告人：李忠金	期别：12 期 手机：13910254013
单位：同学会	邮 箱 richyukinjp@yahoo.co.jp
活动内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、日中医学协会的江藤理事出席了会议并讲了话，事务局的太田女士参加了会议。</li> <li>2、黄定明同学（23 期）就“天然牙保存的现代技术和方法”以及他承担的基层培训项目做了交流和介绍。</li> <li>3、冉玉平同学（4 期）就“新视野、新平台、新模式——皮肤镜的临床应用分享”做了交流。</li> <li>4、唐小海同学（11 期）就“纳米碳混悬注射液的红外吸收和辐射效应的研究”做了交流，并介绍了他本人研发成果的转化成绩进行了交流。</li> <li>5、丁群芳同学（25 期）就“理想与现实的巨大差距——中国的老年医学与养老现状”做了交流介绍。</li> </ol>
成果（亮点）	<p style="text-align: center;">除 33 名同学外，同学的多位弟子也参加了研讨会，扩大了同学会以及奖学金项目的影响力。</p> <p style="text-align: center;">共有 7 名同学的弟子参加了研讨会，弟子们对笹川医学奖学金项目和同学会表示出浓厚的兴趣，表示愿意参加同学会今后组织的活动。</p>
建议	<p>同学们从各个角度发表了自己近期的科研成果，因参会同学来自不同的领域，讲演内容专业性很强，缺少共性和话题性，讨论气氛不够热烈，建议以后选题时尽量选共性和话题性较强的题目。</p>
备注	